



ダンゴムシはなにを食べているの

ダンゴムシは、そうじ屋さん

ダンゴムシは、おもに、夜活動します。自然の中では、こん虫や小動物の死がいや、くさってやわらかくなった木の葉や野菜などを食べています。くさりかかって、やわらかくなったダンボールや、新聞紙まで食べることがあります。

飼うときのえさは、やわらかい野菜

ダンゴムシを飼うなら、えさは、新鮮でぱりぱりした野菜より、キュウリなど、少し古くなって、切り口がやわらかくなったものが好きなようです。

ニンジン、ダイコン、レタス、ホウレンソウ、ナス、サツマイモ、スイカ、リンゴ、ミカン、やわらかい野草のクローバーなど、何でも食べます。しかし、かたいツバキの葉などは、苦手なようです。

口の中には、ひげがある

ダンゴムシは、えさを前の方にある足でつかむようにして、口をもぐもぐさせながら食べます。顕微鏡で、ダンゴムシの頭の部分を見ると、口は、大きながま口のような形をしていて、大きなあごをもっています。口の中には、ひげのようなものが生えているのが見えます。まだ、このひげのようなものが、どんな役目をしているのかは、はっきりわかっていません。

食べたえさは、4～5時間すると、ふんになって体の外に出てきます。

(監修・中山 周平)

